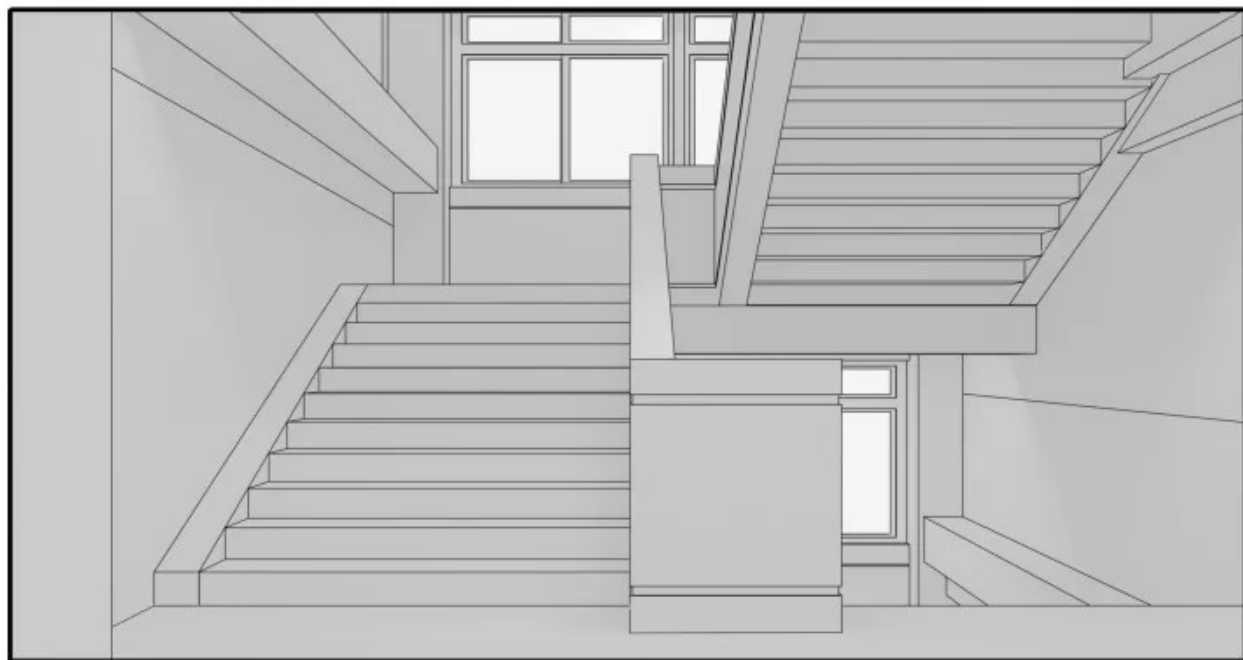
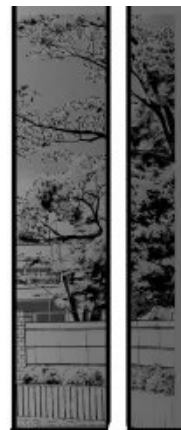


学校裏敷の幽霊屋敷のお姉さん



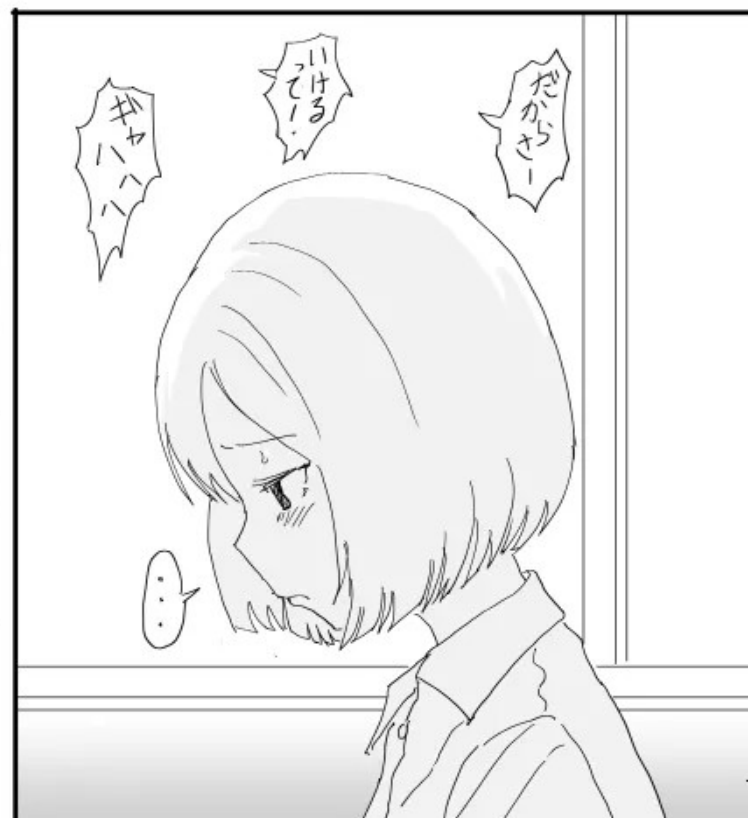
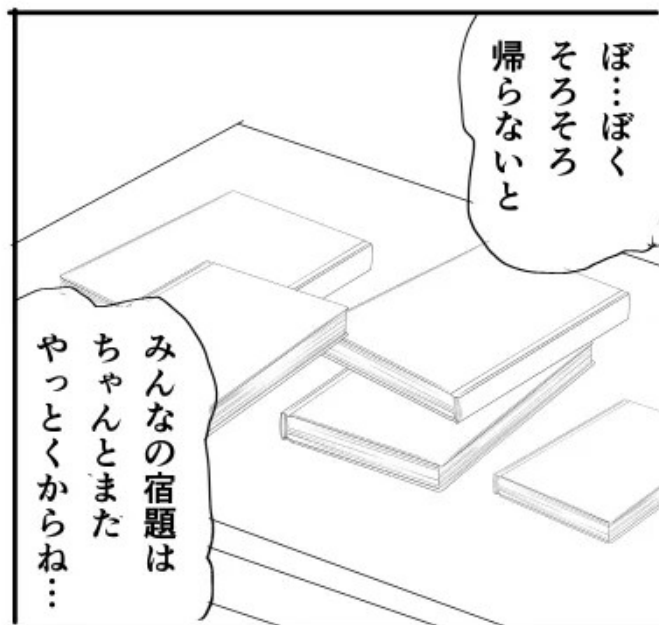
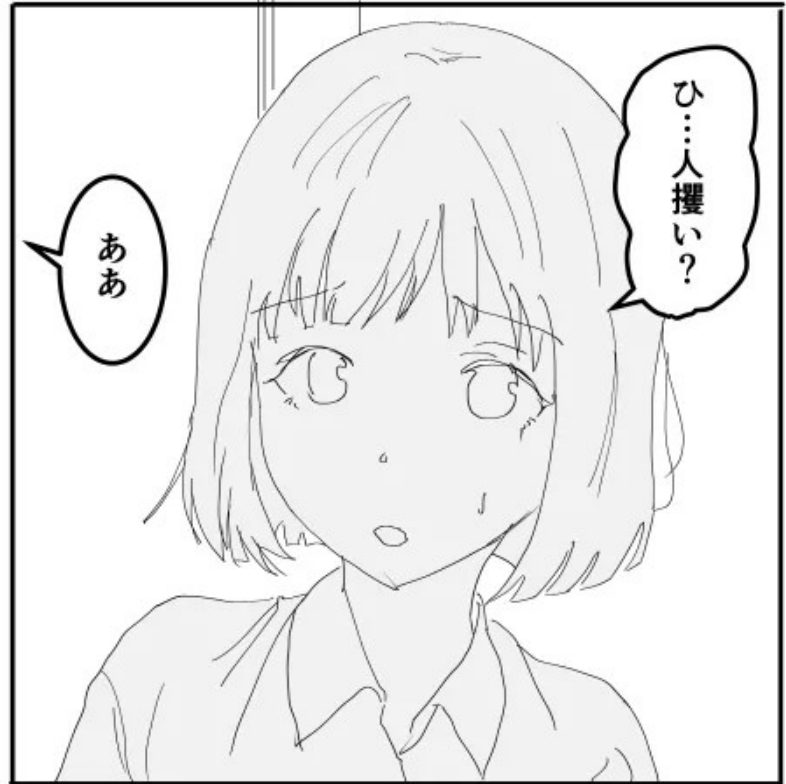
DOJIN
R18
成人向け



ん…んま…

ー上からの
引きのノマー

僕は聞いたこと
ないケド…



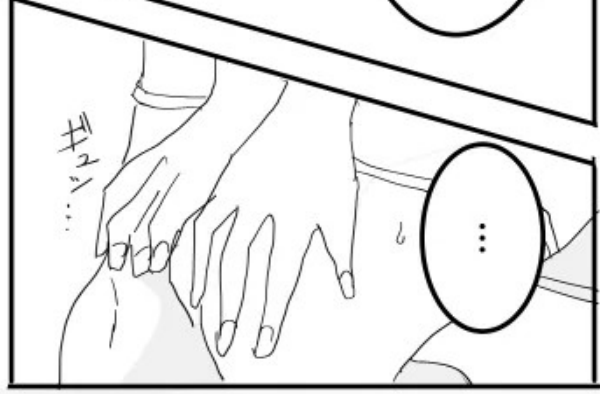


学校の側に
ボロボロの
幽霊屋敷があるだろ？

あそこに住んでる
妙な女が攫ったって
女子どもが噂してた



そんで
その話には
続きがあるんだ



カユン...

⋮



それに
何故か



その長い髪の毛で
顔の半分を
常に隠しているんだ



噂ではその女は
背がとても高く

いつも
白いワンピースに
大きな帽子を
被っていて



眼球が
無いそうだ

…!

何故顔を
隠してる
かって？

その女の
髪の下には…

—横からの
引きのノマ—

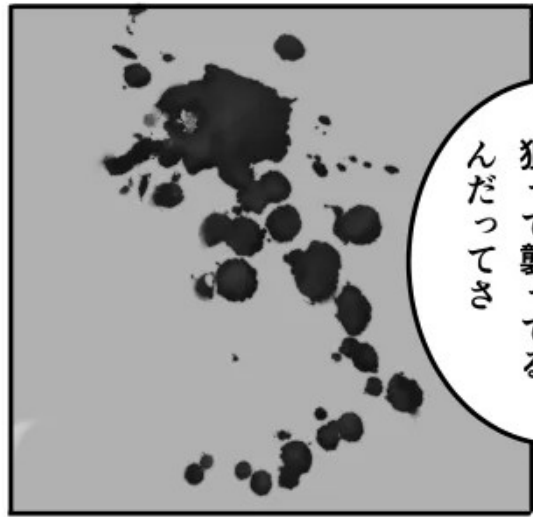


なんでも
まだその女が
俺らぐらいの頃

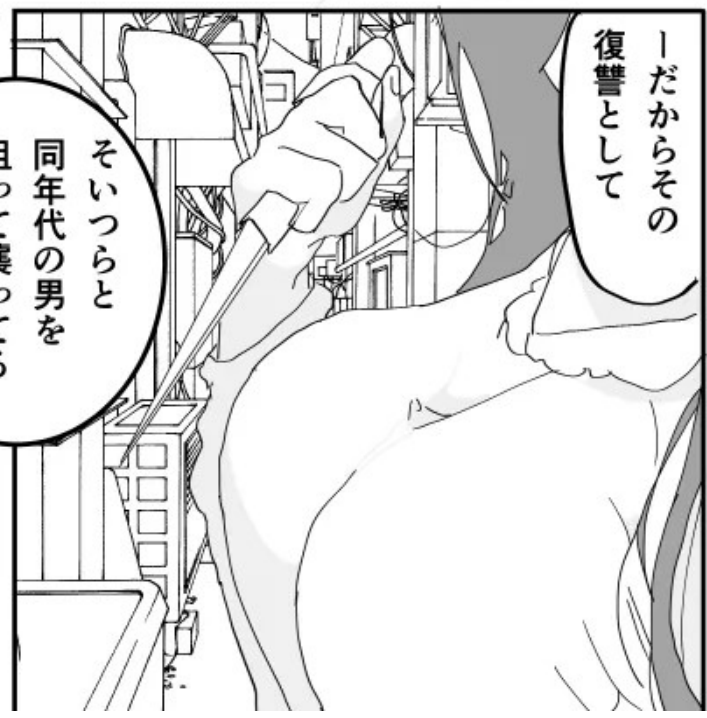
同じクラスの
男たちに彫刻刀で
エグられたらしい

なんでそんな
酷いこと…

さあ？



そいつらと
同年代の男を
狙って襲ってる
んだってさ



—だからその
復讐として

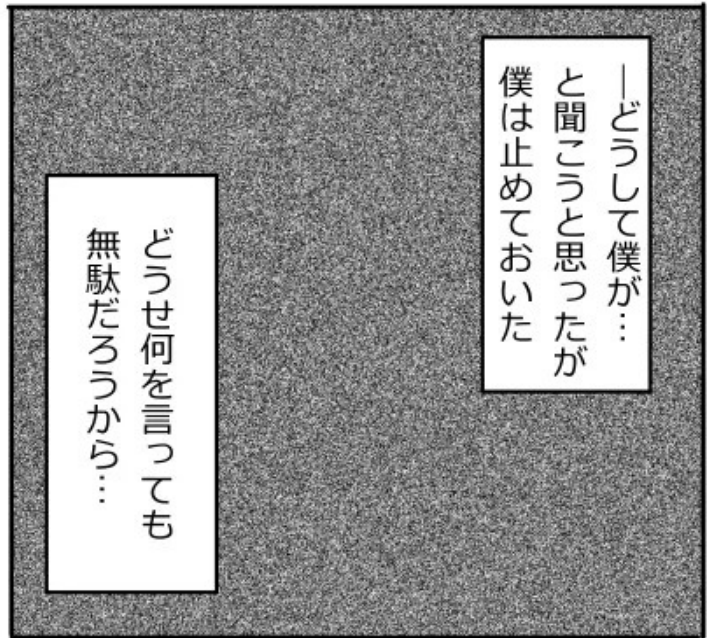
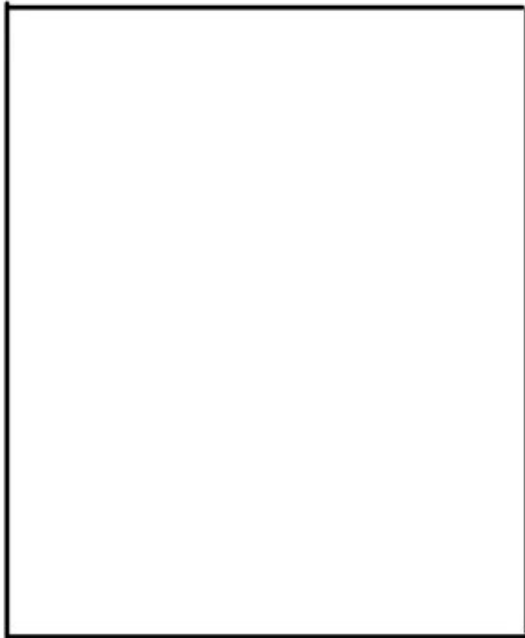


…うん



そこでだ
優等生

今からお前には
その女の家の
調査を命じる！

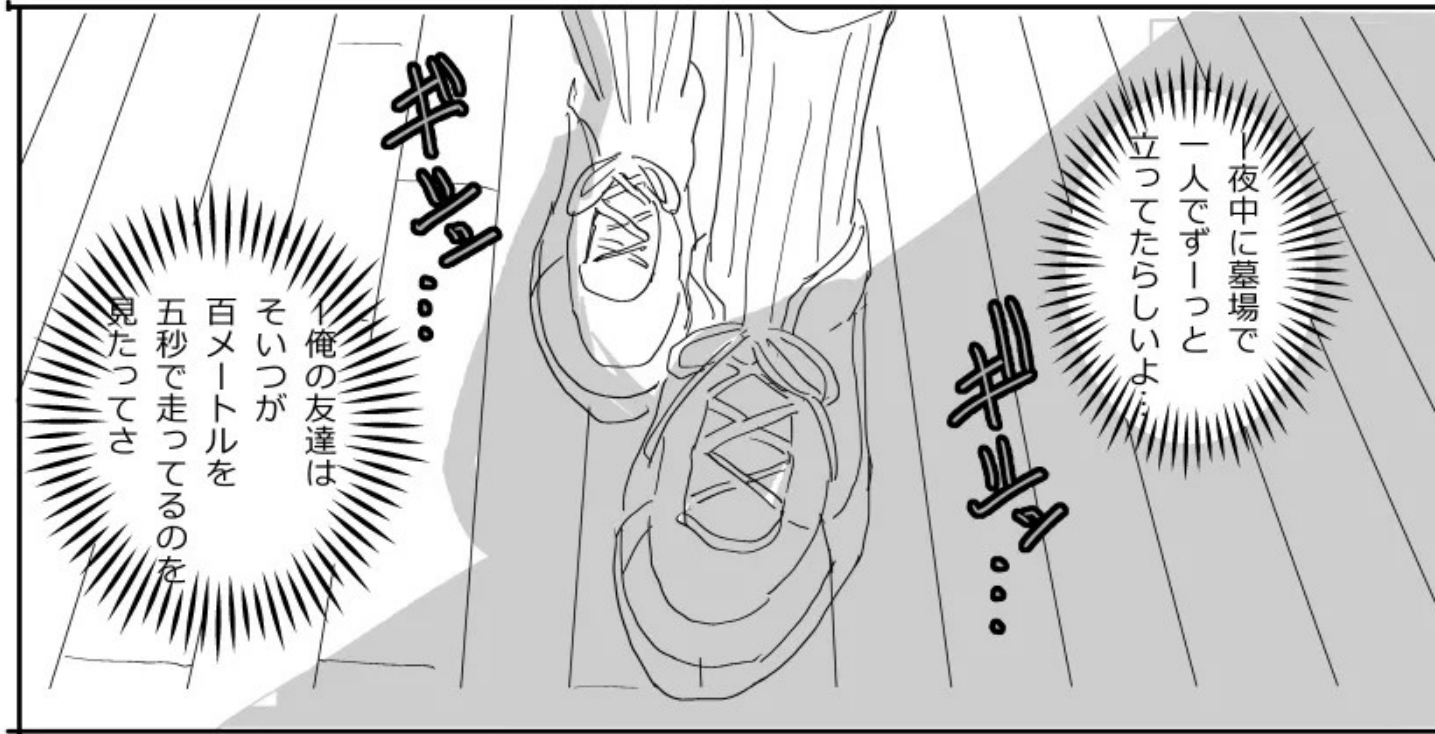
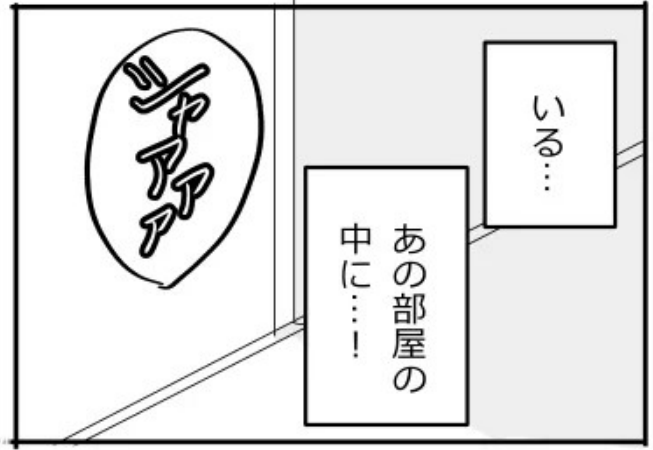


—どうして僕が：
と聞こうと思ったが
僕は止めておいた

どうせ何を言っても
無駄だろうから…



この後何が
起こるかなんて
想いも知らず—





アッ...

アッ

アッ



いいか
お前が逃げないか
確かめるから

↑見上げた

↑角度の
家のコマ

その女の写真を
しっかりと
撮ってこいよ

↑ポケットの中の
スマホの「コマ」

勝手に入っちゃ
ダメだよな…

でも写真を
撮ってこなきゃ…
またあいつらに…

ヒューン
ヒューン

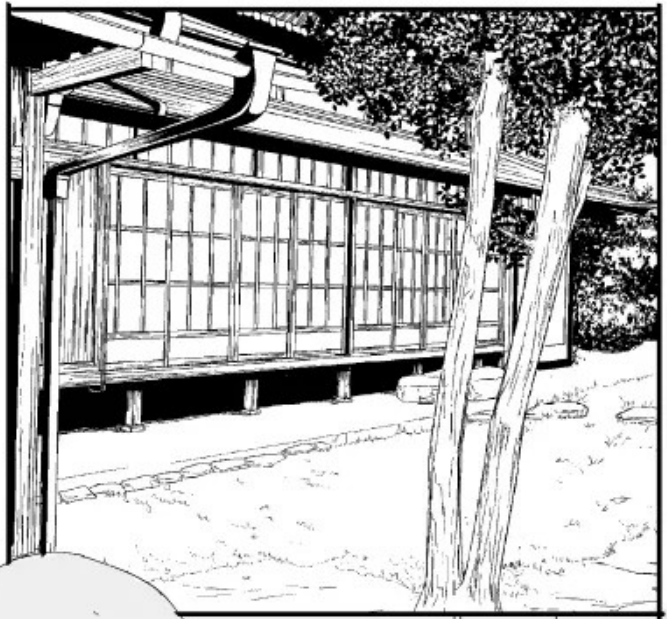
…とりあえず
庭のほうに
周ってみて

いなかったら
今日は帰ろう…

トボ…
トボ…

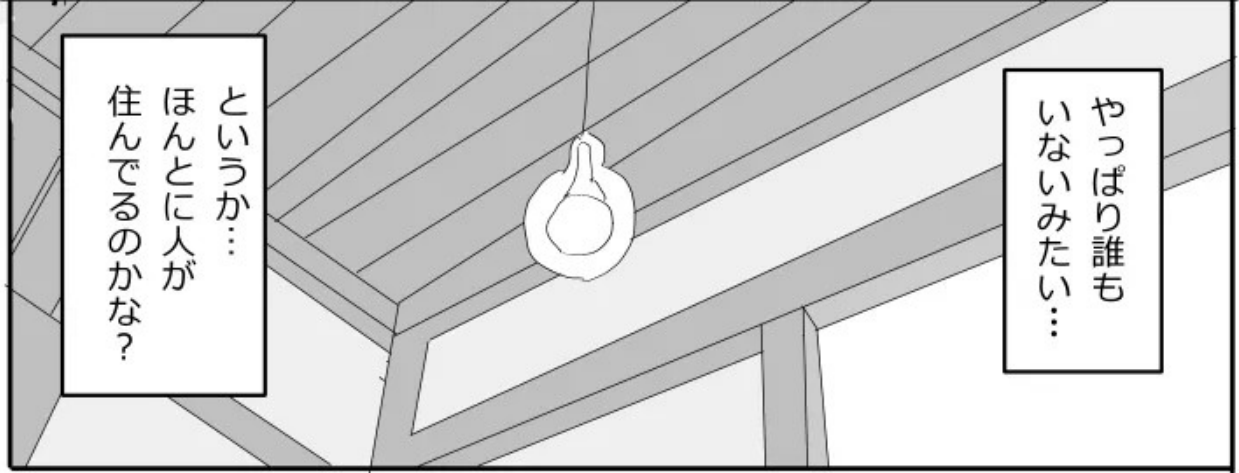


ここから
入れそう…



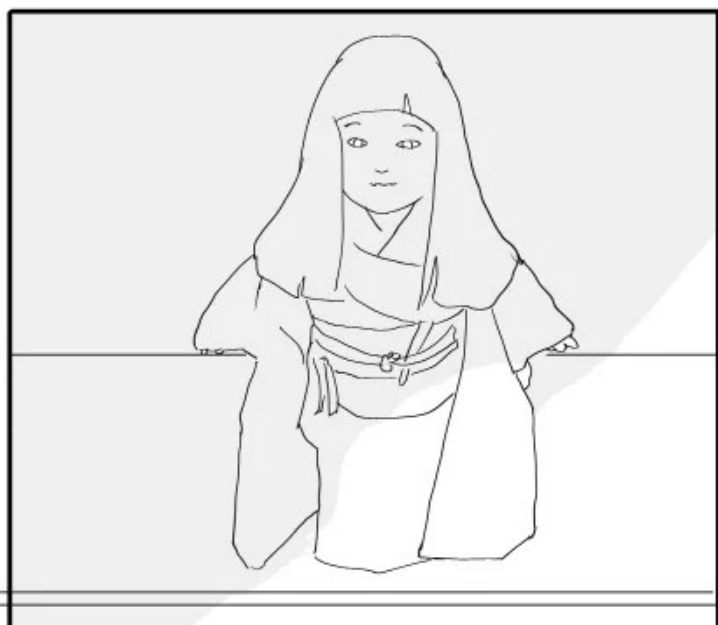
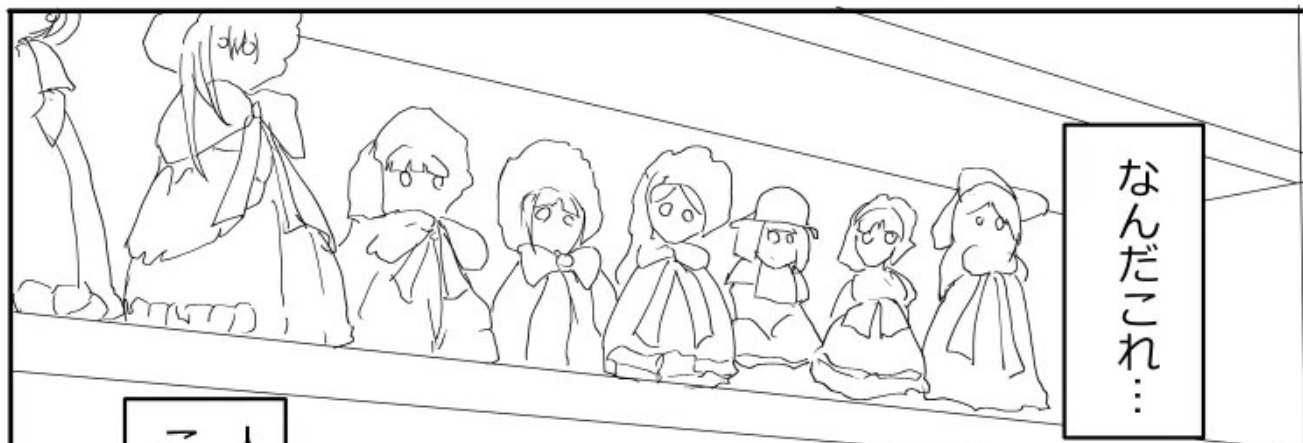
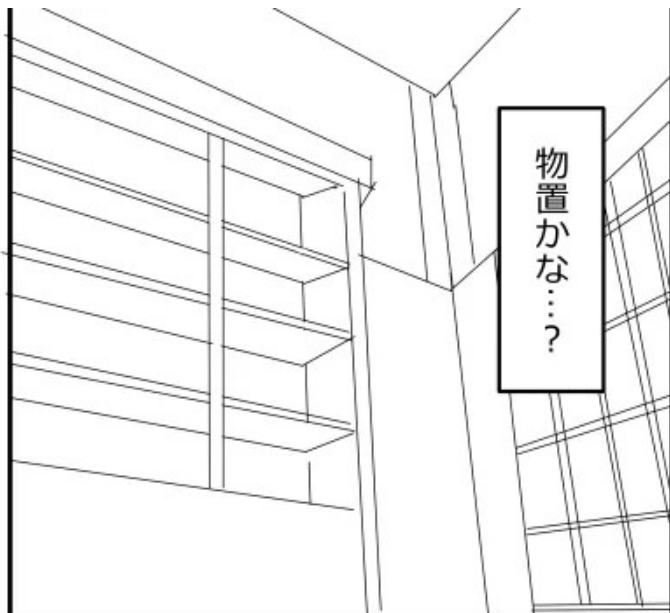
お邪魔
します…

ギョッ…



やっぱり誰も
いないみたい…

というか…
ほんとに人が
住んでるのかな？

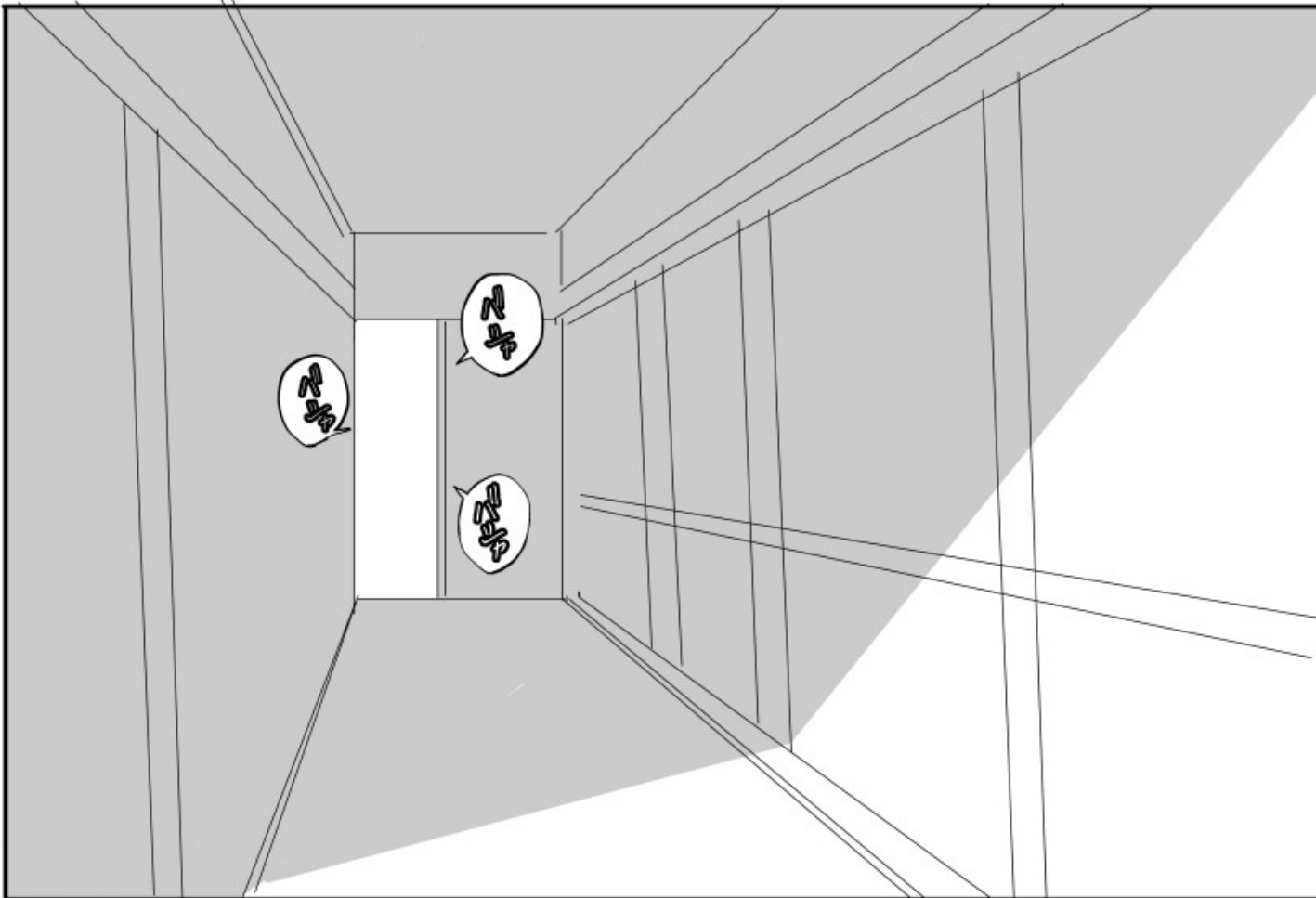




アアア

やじおの
変なところ…

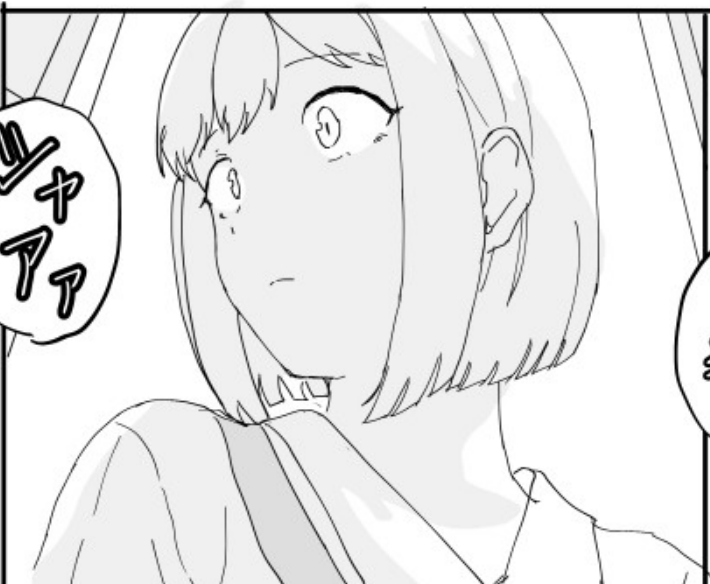
今日は諦めて
このまま—



アアア

アアア

アアア

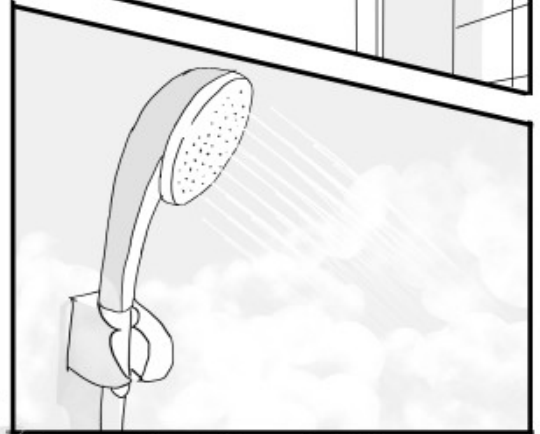
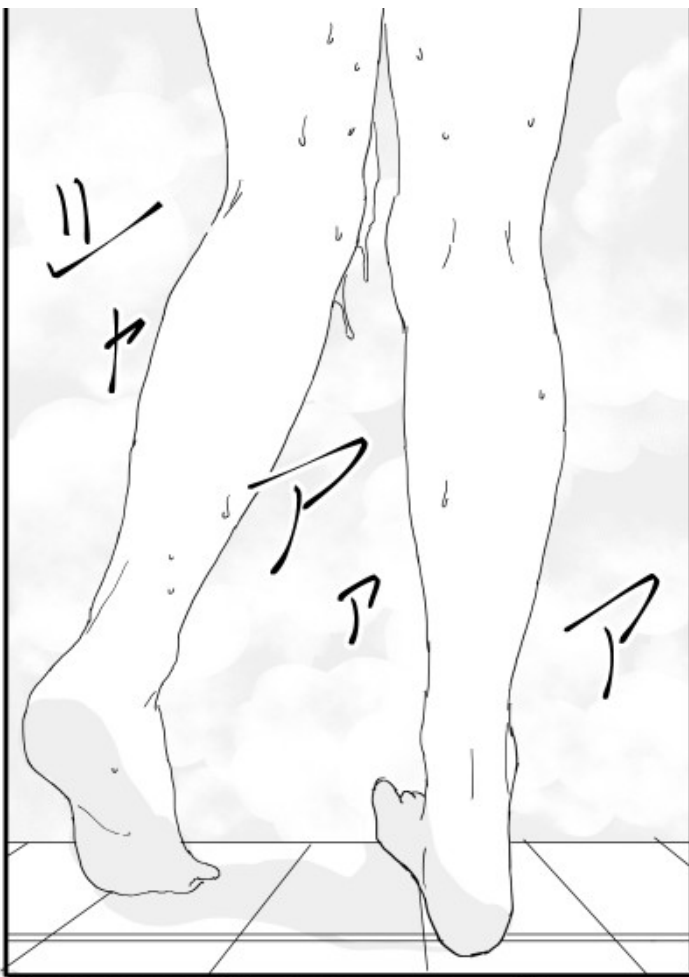


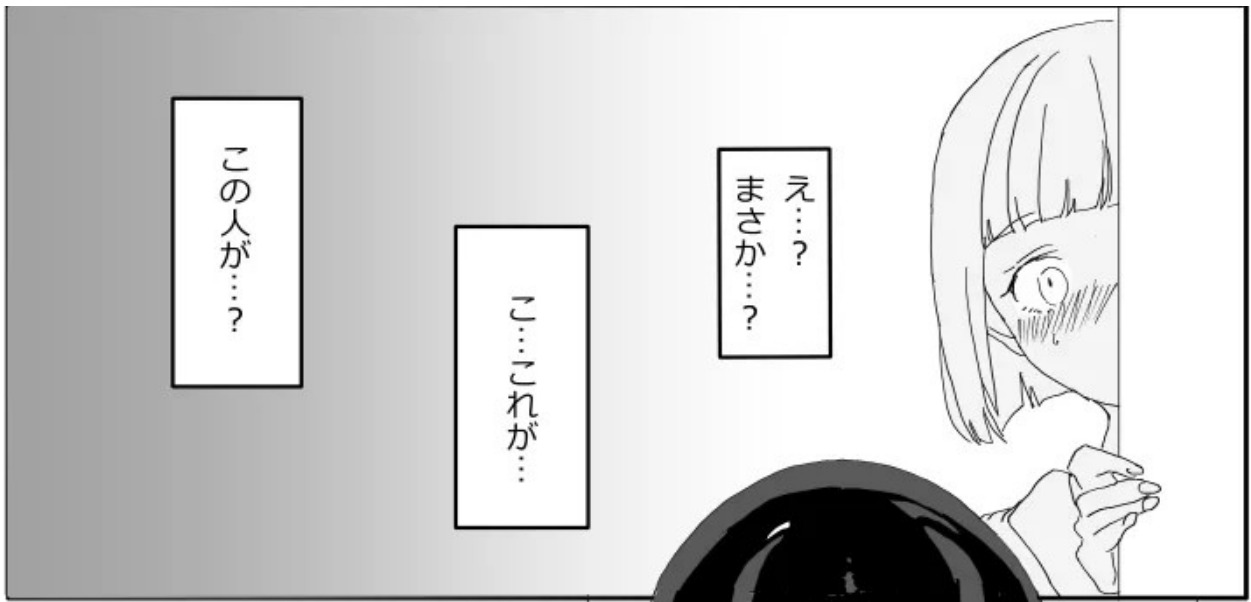
アアア

アアア

アアア

—上からの
引きのクマ—





この人が…?

…これが…

え…?
まさか…?



都市伝説の化け物の
お姉さん…!?

—二人の
引きの「マー



ツカ
アア
アア



噂通り髪の毛で
顔は隠れてるけど……

すごく綺麗な
お姉さん……

……おっぱい
大きい……



僕の眼は
釘付けになった



何よりも



初めての大人の
女の人の裸……

カシヤ



カシヤ

カシヤ

—二人の引き—

カシヤ

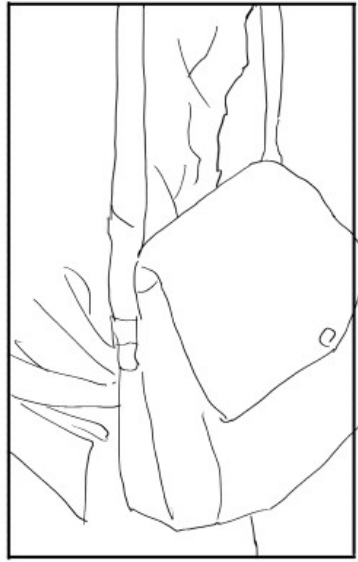
カシヤ



制作中...

—ゴミ捨て場の引き—
ポロポロでも
新しいのでも
何でもいから

—もしあの女に
見つかったら
大丈夫な方法がある
えっ？



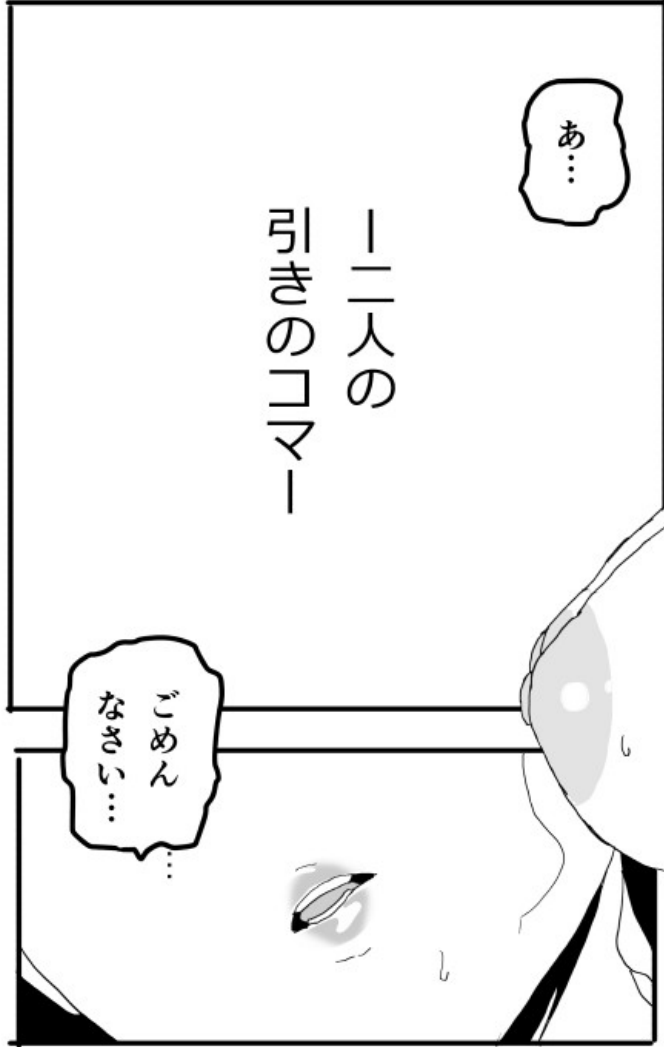
人形を
プレゼントすると
助かるらしい
鞆にでも
入れて
持ってけよ



最後に一枚…



これだけ撮ったら
もう充分かな…？

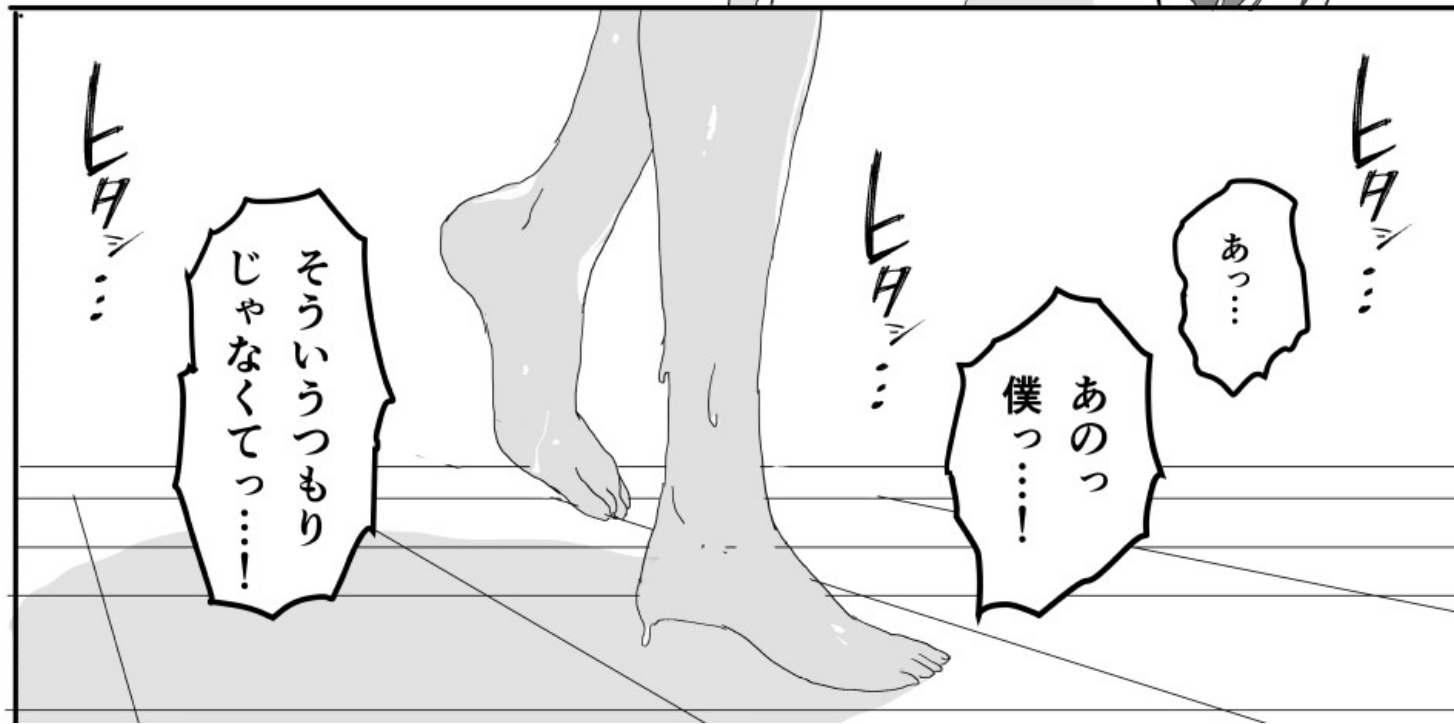


あ…

二人の
引きの「マ」

ごめん
なさい…

カ
シ
ヤ



シタ…

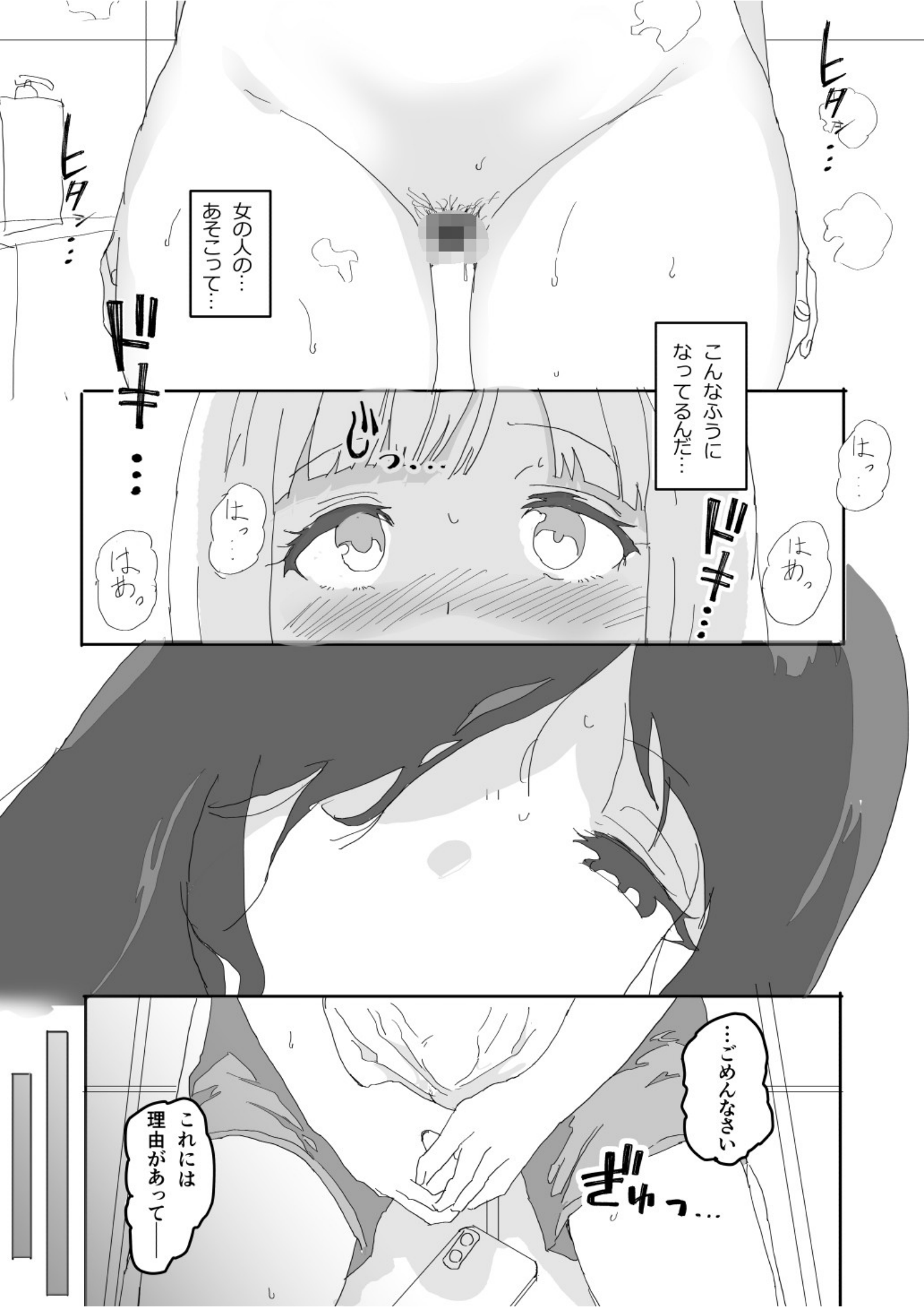
そういうつもり
じゃなくてっ…!

シタ…

あのっ
僕っ…!

あ…

シタ…



シタ...

シタ...

女の人の...
あそこって...

こんなふうにな
ってるんだ...

は...

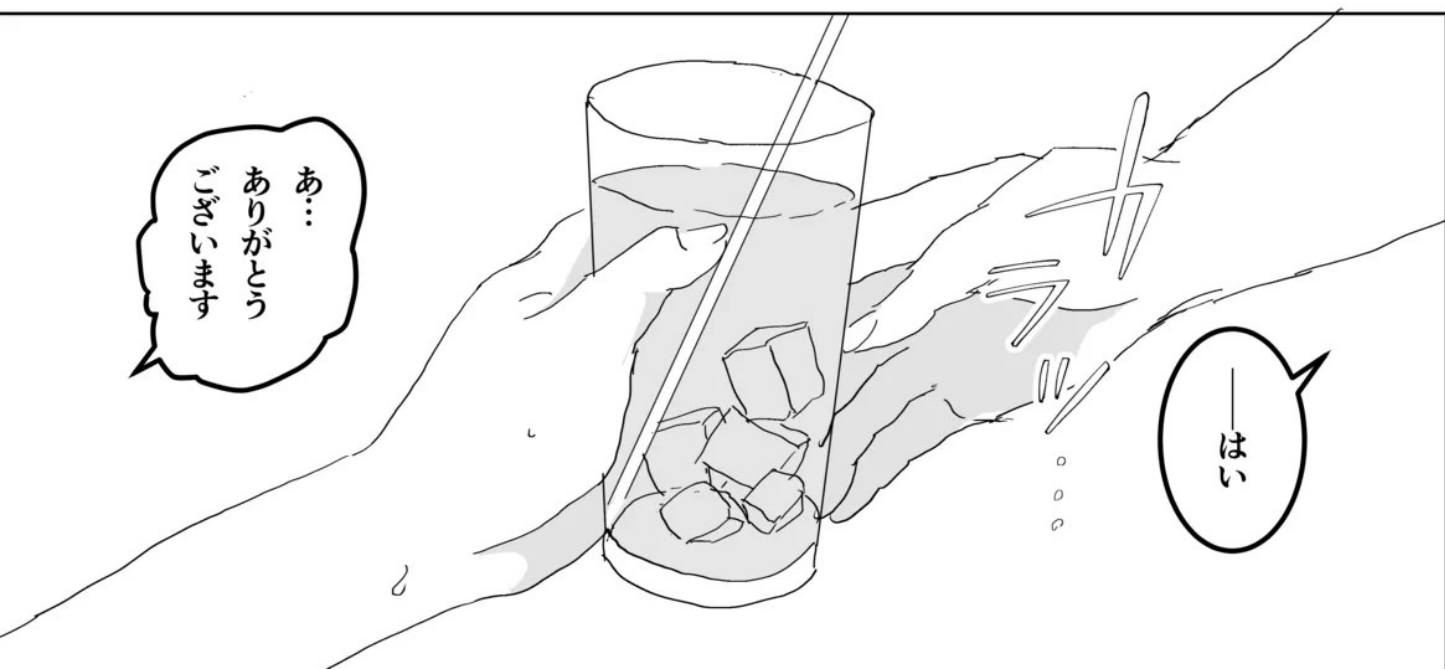
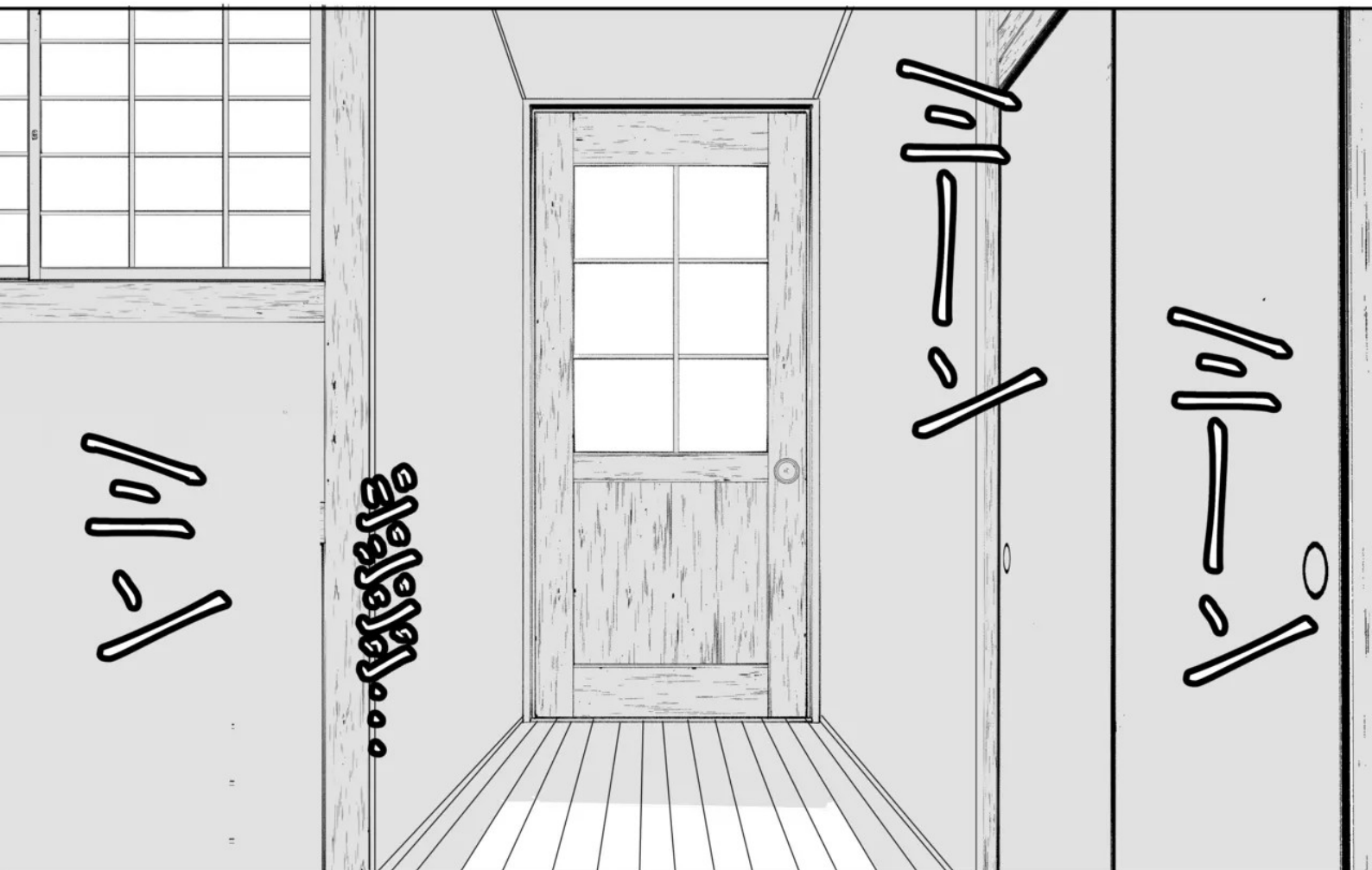
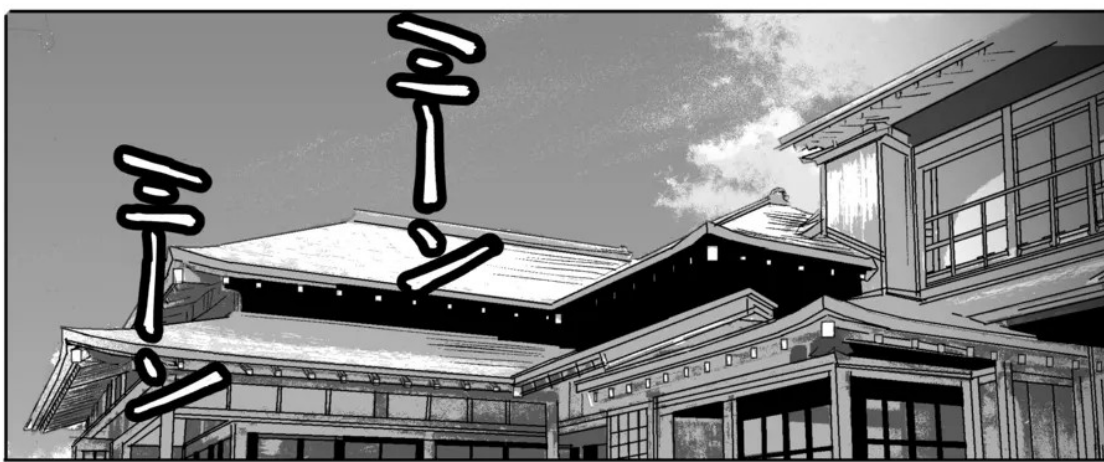
はあ...
は...
はあ...
はあ...

ギキ...

...ごめんなさい

これには
理由があって

ぎゅ...



にしても…

最近の子は
手の込んだことを
するのね

—二人の引き—

ぼ…
僕に勇気が
なくて…

ちゃんと
あいつらに
断ってれば…

…?

カ
ル
メ
ッ

こっちの話…

しかし残念…
“ギミ”じゃあ
適合しなそう
だなあ…

そういうやつらに
大事なのは
しっかり言い返す事

良かった…
全然普通の優しい
お姉さんだった…

やっぱり
都市伝説なんて
存在しない
んだな…

おまけに
こんな綺麗な
お姉さんの…

裸…おっぱい…
見ちゃった…

お母さんより
大きい…

—あの都市伝説は
僕と同じように
あの人形だらけの部屋に
入った子が人に話して…

それが面白おかしく伝わって
全然事実とは違った
噂になっちゃったんだろう

そんなこと
有るわけがないのに—

例えば人形の
コレクションの
趣味が人々に
入れ替わった…
みたいなの

あ…
そうだ…



…!!

なあに？
お代わりする？

二人の引きの「ママ」

いえ…あの…
実は家から
人形を持って
きてて…

人形の「ママ」



いや！
あんな噂を
信じてたわけじゃ
ないんですけど

でもあの…部屋に
いっぱいお人形が
飾ってあったんで
好きなのかなって…



い…子…
だから

…ら
早く
脱…うか

ほら
人形…ら
また…
あげ…から



昔にお母さんに
ねだって
買って貰ったヤツ
なんですけど…

お詫びに…
思ったんですけど…
要らないですよ
こんな古いのは…



すっごく
可愛い顔
してるなって

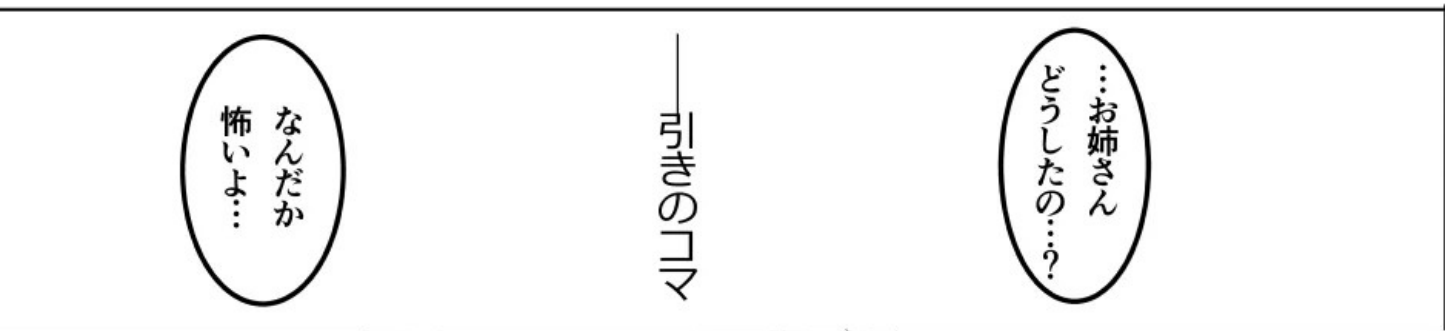
お姉さん
ほんとはずっと
ウズウズしてたの



嬉しい—



えっ？



なんだか
怖いよ…

引きのたま

…お姉さん
どうしたの…？



お姉さんが
優しく筆おろし
してあげる♡



—緊張
しないで…



んんん

二人でエッチなこと
しよっか♡



まよとん

あず…?



人形って…
僕はそんな
つもりじゃ…!

“良いこと”がしに
来たんでしょ?

何でって…?
お人形くれた
じゃない

えっ…!?!
あのっ
何で突然…

どうしてと…?
あの部屋のお人形と
何か関係あるのかな…!?

ほら…

好きにして
いいのよ…

／＼／＼

／＼／＼

／＼／＼

キミの
"お人形"になる
んだから――

――この夏私は

